

# ツーソン日本語補習校 2018年度 年間報告

## ごあいさつ

4年目のツーソン日本語補習校も多くの方々の協力を得て、無事に終えることができました。本年度は日本語科の新設、引っ越しによる生徒の減少とそれに伴うクラスの再編成、新しい会場での日本祭りへの参加などがありました。生徒のニーズに応じた教育を提供するべく、多くの時間と労力を費やして下さった講師陣とアシスタントさん、そして学校活動に惜みない協力をしてくださったボランティアと保護者の皆様には心から感謝の意を表します。どうか来年度も引き続き皆様のご理解ご協力の程よろしくお願ひ致します。つきましては、2018年度の活動報告をさせていただきますのでご査収下さい。

2019年6月吉日

補習校代表 マックナイトひとみ&エスピノサみなみ



10月のハロウィン仮装にて

## 本校の目的

普通科では日本の学校環境にできるだけ近い状態での授業を提供し、家庭での日本語指導を支援すること。日本語科では言語学習に加え、伝統文化やポップカルチャーを交えながら楽しく学べる環境を作ること。また、より多くの地域市民が日本文化や言語のおもしろさを体験できるプログラムの発展に貢献するとともに、日本人家庭と地域のつながりを強化し情報交換の場を提供する。

## 目標

### 学業

個に応じたきめ細かい指導で日本語を使う楽しさを体験させ、国語能力の向上と日本文化の理解を通して、積極的に自己表現ができる国際社会をたくましく生きる人間の育成

### 安定した資金

個人のニーズに応じた教室活動の実践を可能にするための資金源を確保し、無駄のない透明性のある資金繰りの実現

### 健全な組織

教師、アシスタント、ボランティアが気持ちよく働ける環境作りを通して質の高い人材を確保すると共に在校生とその家族との連携を重視した組織づくり

## 会計報告

	2019	2018
<b>収入</b>		
学費	\$ 11,185	\$ 9,552
協賛金	\$ 1,300	\$ 1,400
ファウンドレイジング・漢検・アムネット	\$ 4,349	\$ 2,771
収入計	\$ 16,835	\$ 13,723
<b>支出</b>		
人件費	\$ 9,752	\$ 9,200
家賃保険ライセンス等	\$ 2,125	\$ 2,122
学校用品行事等	\$ 3,411	\$ 2,191
その他	\$ 760	\$ -----
支出計	\$ 15,858	\$ 13,513

前年度繰越金 \$ 3,870 \$ 4,150

総残高 \$ 4,847 \$ 4,360

## 2018年度のハイライト

### 日本語科設立

以前から問い合わせと要望が多かった、第二言語として日本語を学ぶクラスを新設しました。10歳から17歳程度という年齢幅を設けたものの、どのような学生が入学してくるのか分からないままのスタートでしたが、担当講師の柔軟な対応と教材の工夫により、充実した活動がおこなわれました。

### ファンドレイジング

今年1月のツーソン日本祭りは、ピマ大学から、チャイニーズカルチャーセンターに会場を変えて行われました。生徒はオープニングイベントを盛り上げるパフォーマンスとして、合唱曲「ありがとうの花」のステージ発表をしました。紙花を手につけた素敵な振り付けと、子供たちの元気な歌声は会場の人々から大きな歓声を浴びました。一方保護者と職員は、おにぎりとチョコバナナの露店、室内では書道家の明子さんオリジナルデザインによる学校Tシャツと手作り箸セット、イヤリングの販売などを行いました。早朝から、長時間に及ぶたくさんの方々の力添えによりこのファンドレイジング活動も成功をおさめました。活動の収益金は教材の整備、学校行事に関わる備品の購入、図書の実践など、生徒に還元する形で大切に使用させていただきます。皆様のご協力本当にどうもありがとうございます。学校オリジナル“文武両道”Tシャツはまだ数枚の予備がございます。ご興味のある方は、学校にお問い合わせ下さい。



左:祭りでの露店の様子 右:学校オリジナルTシャツ

## 2019年度へ向けて

### 地域貢献とこれからの補習校

本校は学校のNPO化に向けて動き出しています。設立当初からの検討事項ではあったものの、長期的な見通しがたつまではと今まで申請をせずに来ていました。しかし乗り越えるべき関門はあるものの、組織として運営を続けていく上でのメリットも大きいと考え、フェニックスのアリゾナ学園、ツーソン市内の関係諸団体などからの意見を仰ぎながら申請の準備を始めているところです。状況が進展しましたら、お知らせいたします。また、イベント等でたくさんの方から大人向けのクラスはやっていないのか?などの問い合わせがきています。現状の職員体制でクラス数を増やすのは難しいのですが、何らかの形で地域の要望に応えることはできないかと模索しています。日本語部の新設もその一環ではありましたが、これからも日本語と日本文化に興味を持ってくださっている地域の方と、日本人コミュニティとをつなぐ役割の一端を担っていきたくと考えています。ご意見等ありましたらよろしくお願い致します。

### 2018年度協賛者様一覧

EMRO USA Effective Microorganisms 様  
Kaizen Kan 様  
レストランー休 様  
ツーソン日本人教会 様  
大崎 祥子 様  
堤 哲平 様



11月の運動会にて

### ボランティア

榎波 斉臣 榎波 志保 大崎 麗子 ビーター リサ リー 美晴  
ピクターソン 明子

### スタッフ

大崎 祥子 シュワルベ イーサン ネン みき プシエット 真由美  
マウザー みちよ